



関 元弘
ななくさ農園 代表
ふくしま農家の
夢ワイン(株) 相談役

夢のある里山の農と暮らし

1. 自己紹介

二本松市東和地区は典型的な中山間地域であり、中山間地域とは、「地勢等の地理的条件が悪く、農業の生産条件が不利な地域」とされていますが、私にとっては里山景色が美しい日本の原風景があり、人情味溢れる方々の助け合いで成り立っている住み良いところです。私は、そのような東和地区へ平成18年に移住、新規就農し、以来、有機農業に取り組みつつ様々な地域活動に参加し田舎暮らしを楽しんでいます。

今回は、震災復興と地域社会活性化の取組みについて小さな取組みで恐縮ですがご紹介させていただきます。

2. 有機農業（オーガニック）の取組

有機農業は、化学肥料、農薬による環境汚染や食品安全への不安から消費者と生産者との提携、直接取引により細々と取り組まれてきた歴史がありますが、温暖化、気候変動等の地球規模の問題を受け持続可能な社会のあり方が世界的な課題となっている今日、持続可能な農業として注目されています。



ワイン造りを始めたオヤジ達



いちい様の売り場

農水省でも「みどりの食料システム戦略」を発表し、その中で農地の1/4（100万 ha）を有機農業にすると壮大な目標を掲げ世間を驚かせたことは記憶に新しいところです。

中山間地域は規模拡大、機械化農業には馴染みませんが、狭小ながらも起伏に富んだ地形に分散された農地での多品目栽培、それに隣接した林地から得られる落葉等の有機質資源の活用により、適期適作と過度な投入をしない自然と共生する有機農業に取り組みやすい環境があります。

原発事故により県内の農家は大きな痛手を被り、今現在も影響はゼロでない状況にあります。私達も首都圏での販路が絶たれ厳しい時期もありました。現在では、福島市の卸売・物流業「デイリーサービス」様と地元スーパー「いちい」様と連携し有機農産物の販売を展開しております。

デイリーサービス様による各戸集荷、いちい様の各店舗への配送というシンプルな物流により、新鮮でリーズナブルな価格の有機農産物が消費者に提供されています。日々収穫される農作物が確実に販売できること、生産者組織内での技術交流ができること等、誰もが有機農業に取り組みやすい環境が整いつつあります。

二本松市では昨年2月、「オーガニックビレッジ宣言」をしたところですので、世間の流れに乗り有機農業に取り組む者を1人でも増やし地域農業を盛り上げたいと思っております。

3. ワインによる地域活性化？

かつては養蚕が盛んで「養蚕日本一」と讃えられました二本松市東和地区ですが、養蚕が廃れた後は「耕作放棄日本一」となり、東日本大震災及び原発事故が発生し更に厳しい状況になっていましたが、かつての賑やかだった東和を取り戻したい、農業に興味を示さない倅達に振返って欲しいとの思いを持つ地元農家が集まり、ブドウを植えてワインを造ろう！と盛り上がりました。

「東和ワインプロジェクト」と銘打ち、「東和果実酒研究会」を立ち上げ、先進地を訪ねブドウ栽培、ワイン醸造の技術の習得をしつつ、市役所へ働きかけ、東北で2例目となる「東和果実酒特区」の認定とブドウ苗木の補助を始めとした各種支援を受けることができ、取り組みが地域内へ波及していきました。



ふくしま農家の夢ワイン

特区認定後、当初メンバー8名が出資し、「ふくしま農家の夢ワイン株式会社」を設立し（平成24年9月）、果実酒製造免許の申請をしつつ、放棄されていた稚蚕共同飼育所を借り受け、自力施工によりワイナリー施設へ改修しました。

免許交付（平成25年3月）を受け、風評で売れず蔵に貯蔵されていた羽山リンゴを原料としたシードル（発泡性のリンゴ酒）の製造を開始し、翌年には、当初植えたブドウによる待望のワインを200本程度醸造することができました。

その後、ブドウの樹の成長と栽培面積の拡大により収穫量は徐々に増加し、栽培、醸造技術の向上によりワインの品質も向上してきました。

ゼロからのスタートでしたが、地域の皆様の多大なご支援のお陰で地域ブランドとして定着し、経営も安定してきたこともあり設立10年を機に次世代を担う農家の俤達に事業承継し夢を託しました。代替わりしても地域に密着したワイン造りは変わりませんので引き続きのご愛顧をお願い致します。



夢が詰まったワイン達

4. 地域の未来

消滅可能性自治体が公表され世間を騒がせていますが、少子・高齢化、人口減少が端的に現れる農村では、今そこにある危機と言えます。

今後10年以内に地域を牽引している団塊の世代前後の方々が後期高齢者となるので、少ない人数でも地域を保全できる仕組み作りが必要ですし、地域内外から新たな担い手を迎えていく必要もあります。

日本が縮小する流れは変えることができず厳しい状況は続きますが、地域を愛し、チャレンジする者がいる限り地域は消滅せず続いていくことを信じて、誰もがチャレンジできる夢のある農業・農村を目指して頑張る所存ですのでご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。



次世代の担い手達